

# 特定外来生物の防除への協力をお願い

－ナガエツルノゲイトウ・クビアカツヤカミキリの根絶に向けて－

- 特定外来生物であるナガエツルノゲイトウの繁茂期（6月～10月）とクビアカツヤカミキリの活動期（6月初旬～8月初旬）が目前に迫っていることから、それぞれの生物の概要と発見した時の対応をお知らせします。
- また、これ以上被害を拡大させないため、県民の皆様を知っていただきたいことをまとめた啓発動画（各60秒程度）を作成しました。ぜひご覧いただき、生態系の保全のためご協力をお願いします。

## 1 ナガエツルノゲイトウの概要 《地球上最悪の侵略的植物》

国が特定外来生物に指定している南米原産の水生植物

### □ 農業被害等の発生

田畑で繁茂すると作物を覆い生育不良を生じたり、ため池等の水面を覆い尽くし、在来生物の生息環境を奪う

### □ 凄まじい繁殖力・再生力

わずか2mm程度の根の断片からも再生可能  
1シーズンに5m伸長

### □ 乾燥に非常に強く、耐塩性もあり

水生植物だが、陸上や海浜でも生育

### □ 県内発生状況

16市町※で発生 ※神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、洲本、伊丹、加古川、西脇、高砂、川西、南あわじ、猪名川、多可、稲美、播磨  
平成元年 尼崎市で初めて発見（国内初）



### 【特徴】

- ・長い柄の先に球状の白い花
- ・茎から1対の葉が生える（対生）
- ・葉は主脈が目立つ
- ・茎は節があり、中が空洞で、表面がツルツル
- ・葉の先はやや尖る

**見つけたら、触らずに、県に通報を！**

※刈り取り等により、ちぎれて拡散すれば逆に被害を広げてしまいます。



<通報先>

<注意事項> 生きたまま許可なく運搬してはいけません。（最高で個人の場合懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金）